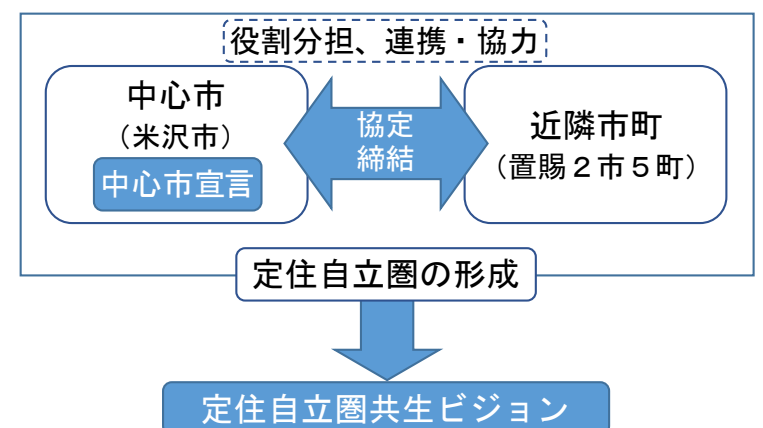


置賜定住自立圏第2次共生ビジョン

1 定住自立圏構想について

定住自立圏構想とは、人口5万人以上などの要件を満たす「中心市」が、近隣市町と協定を結ぶことで「定住自立圏」を形成し、圏域内の各市町が相互に役割分担し、連携・協力することによって、圏域全体で必要な生活機能等を確保し、地方における定住の受け皿を形成するものです。



2 定住自立圏の形成に係る流れ

国の「定住自立圏構想推進要綱」に基づき、平成30年2月に米沢市が「中心市宣言」を行い、これを受け、米沢市と近隣の2市5町との間で協議を進め、平成30年6月には、米沢市と各市町との間で「定住自立圏形成協定」を締結しました。その後、圏域内の様々な分野の関係者等で構成する「共生ビジョン懇談会」による検討を重ね、「置賜定住自立圏共生ビジョン」をとりまとめました。このビジョンに基づき、令和元年度から、具体的な事業を進めています。

3 定住自立圏第2次共生ビジョンについて

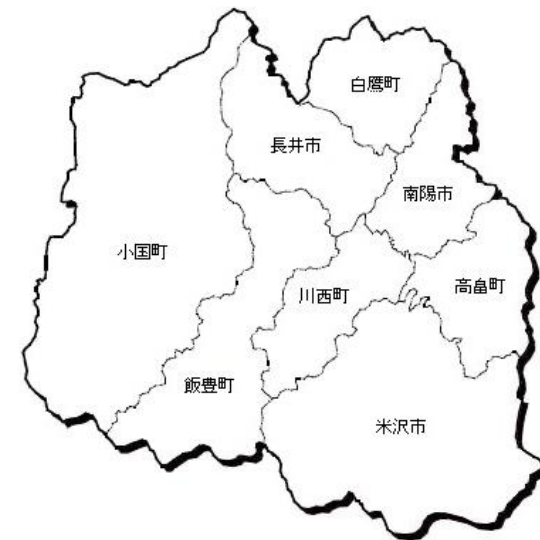
(1) 目的

このビジョンは、置賜地域における定住自立圏の将来像やその実現のために圏域内の市町が連携して推進する具体的な取組内容を示すものです。

(2) 圏域の名称・構成市町・期間

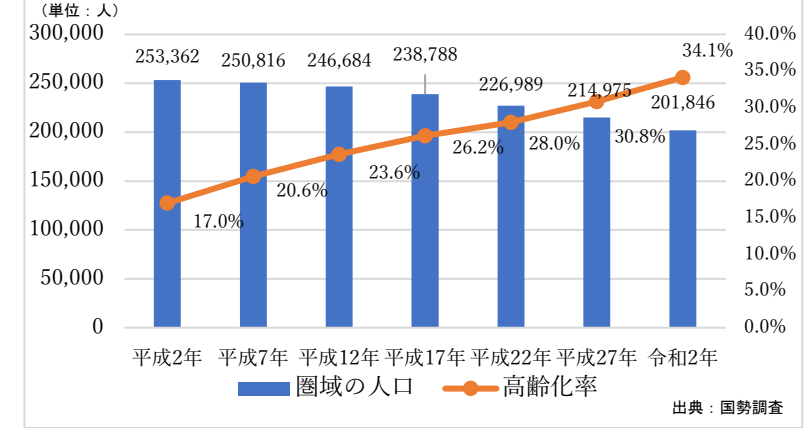
名称：置賜定住自立圏
構成市町：米沢市（中心市）、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町

期間：令和6年度～10年度までの5年間
期間内であっても、事業の取組実績等を踏まえ、ビジョンの見直しを行っています。



4 置賜圏域の概況（人口の推移）

国勢調査の結果によると、圏域の人口は、平成2年から令和2年までの間に5万人以上が減少しています。高齢化率（全体に占める65歳以上人口の割合）も上昇し、3割を超える状況にあります。



5 圏域の将来像

置賜圏域は、歴史的背景や地理的要因から、行政区域を越えて生活圏を共有し、経済、教育、文化などの面で深いつながりを持ちながら発展してきました。

これまで圏域内の各市町は、それぞれが活力ある地域づくりを実現するため、様々な取組を推進してきましたが、人口減少や高齢化は急速に進んでおり、今後も、こうした傾向は続くものと予測されます。

こうした状況の中、今後も、地域の活性化を図り持続的に発展していくためには、単独自治体での事業展開には限界があることから、広域で連携し、効果的、効率的に行政運営を行うことが必要です。

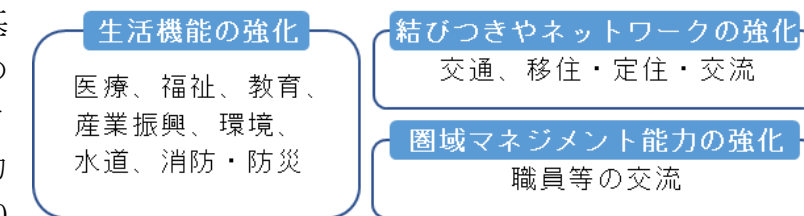
このような認識の下、置賜圏域の8市町は、それぞれの独自性を維持しながら、地域の魅力をしっかりと磨き、その上で様々な分野において連携を深めつつ、住民の暮らしに必要な諸機能を圏域全体として確保することで、住民が暮らしやすい、活力ある圏域を創造し、共存共栄を目指します。

上記の方針に基づき、置賜圏域の8市町は、次のスローガンを掲げ、ともに明るい未来を目指し、連携を深めていきます。

～つながる置賜 ともに明るい未来へ～

6 協定に基づき推進する分野

「定住自立圏形成協定」に基づき、構成市町は、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」の3つの政策分野で、10分野14項目の取組を行います。



7 具体的な取組

中心市と各市町が締結した「定住自立圏形成協定」に基づき、圏域の将来像の実現に向けて関係市町が連携して推進していく具体的な取組の内容は、以下のとおりです。

（１）生活機能の強化（７分野 11 項目）

① 医療

ア 地域医療体制の充実

- 1 平日夜間及び休日における診療体制の充実
- 2 医療情報ネットワークの運営
- 3 医療従事者確保事業
- 4 人工透析患者環境確保事業

② 福祉

ア 子育て支援の充実

- 1 病児保育事業（病児対応型）の広域利用
- 2 一時預かり事業の広域利用
- 3 児童遊園施設等の広域利用
- 4 指定児童発達支援事業所の広域利用

イ 福祉・健康事業の充実

- 1 置賜成年後見センターの運営
- 2 自殺対策における普及啓発活動の推進
- 3 室内軽運動場等整備による福祉・健康の増進

③ 教育

ア 教育環境・生涯学習の充実

- 1 白鷹高等専修学校教育充実支援事業

④ 産業振興

ア 農畜産物等の振興

- 1 置賜地域特産農産物等消費流通拡大事業
- 2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討

イ 米沢牛の振興

- 1 米沢牛生産基盤強化事業
- 2 自給飼料の確保及び放牧場の広域利用
- 3 先進的取組の推進及び生産基盤強化に向けた研究会の開催
- 4 米沢市食肉センターの管理運営
- 5 米沢牛のブランド向上に向けての P R 推進
- 6 米沢牛生産者への支援事業

ウ 商工業の活性化と雇用促進

- 1 産業人材の確保・定着の促進

エ 広域観光の推進

- 1 道の駅米沢を中心とした広域観光の推進
- 2 山形おきたま観光協議会による観光プロモーションの実施
- 3 地域連携 DMO の運営
- 4 観光施設の整備

⑤ 環境

ア 環境の保全

- 1 ゼロカーボンの実現に向けた環境保全及び循環型社会構築事業並びに再生可能エネルギーの利用促進及び地産地消の取組
- 2 ゼロカーボンの実現に向けた森林・里山保全対策の検討

⑥ 水道

ア 圏域内水道の広域連携等の検討

- 1 圏域内水道の広域化の検討

⑦ 消防・防災

ア 消防・防災体制の強化

- 1 消防・防災体制の強化

（２）結びつきやネットワークの強化（２分野 2 項目）

① 交通

ア 交通ネットワーク等の維持・整備

- 1 米坂線の早期全線復旧に向けた取組
- 2 圏域内鉄道路線の利用促進並びに山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備
- 3 路線バス等の運行、維持及び広域的な公共交通網の整備に向けた検討
- 4 道路除雪の路線交換
- 5 圏域内における道路整備の推進

② 移住・定住・交流

ア 移住・定住・交流等の推進

- 1 広域連携による移住交流促進及び地域おこし協力隊交流事業
- 2 婚活支援事業

（３）圏域マネジメント能力の強化（１分野 1 項目）

① 職員等の交流

ア 職員研修及び交流

- 1 職員研修事業
- 2 地方創生に向けた人材育成事業
- 3 行政 D X の推進